

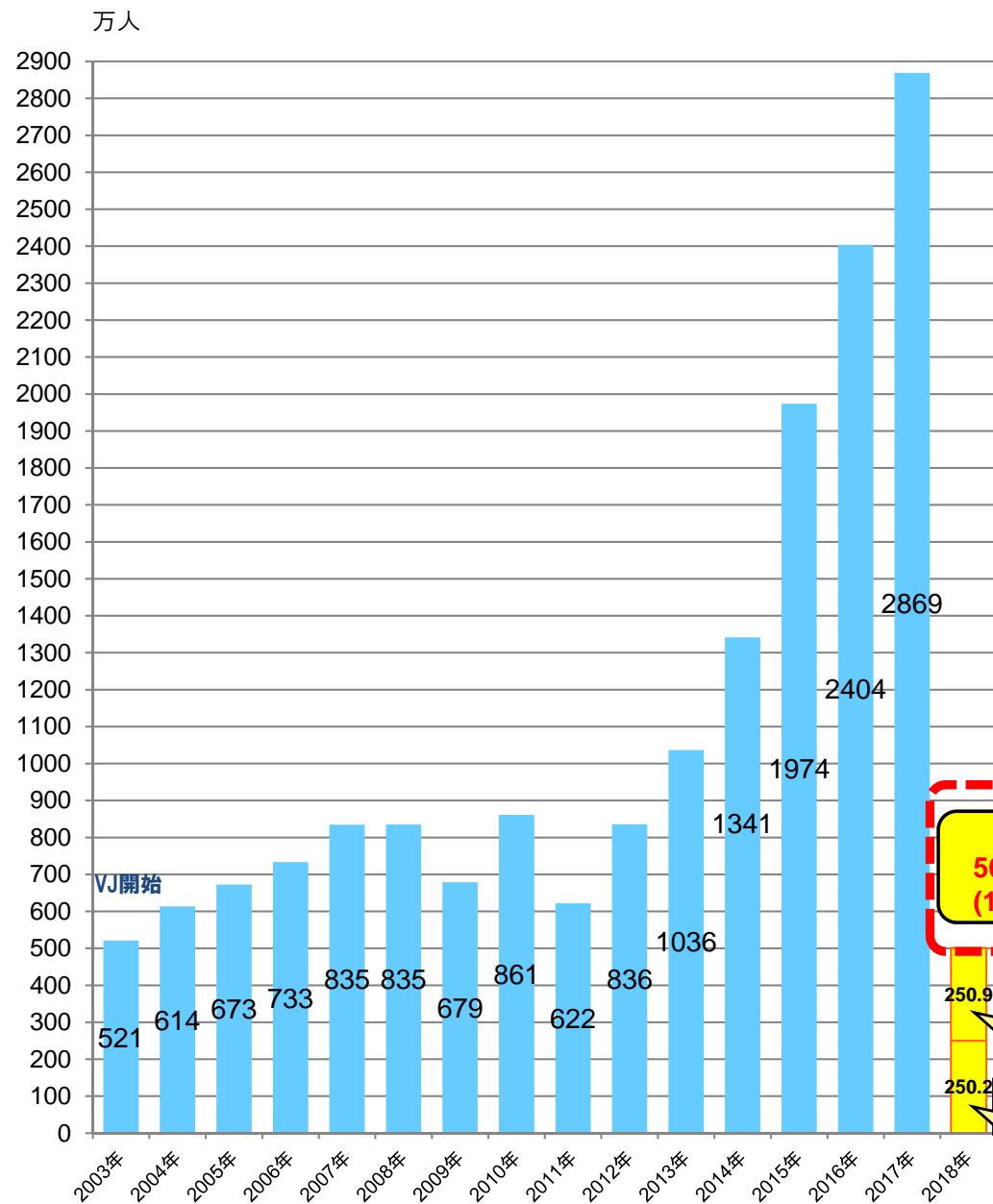
多言語音声翻訳システムの更なる普及に向けた 観光庁施策について

平成30年4月11日
観光庁資料

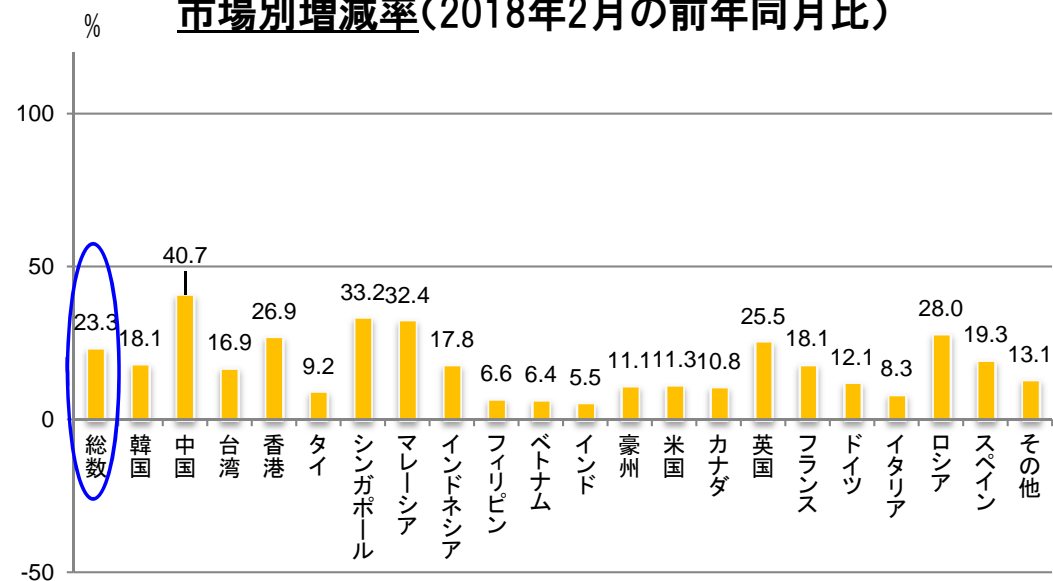
言語バリアフリー関係府省連絡会議

2018年2月の訪日外国人旅行者数

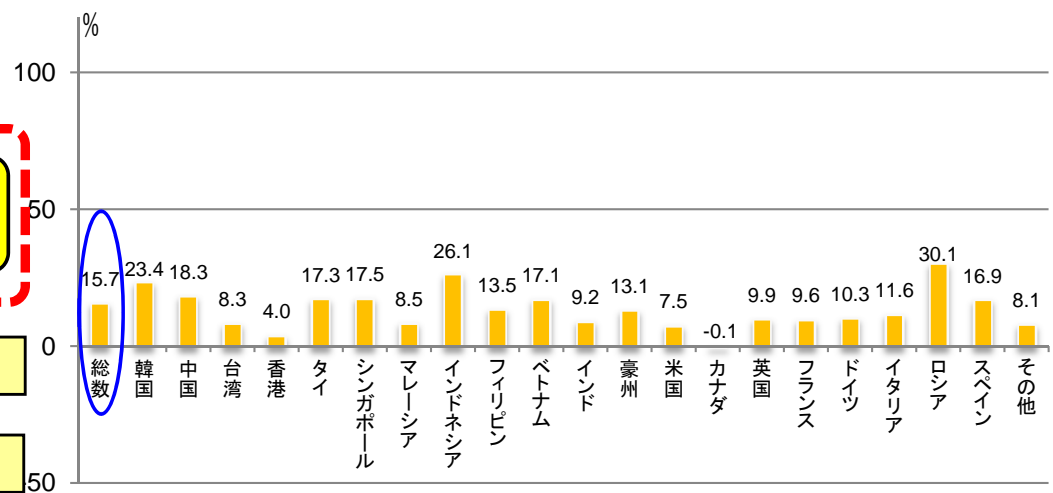
訪日外国人旅行者数の推移



市場別増減率(2018年2月の前年同月比)



市場別増減率(2018年1~2月の前年同期比)



注) 2016年以前の値は確定値、2017年の値は暫定値、2018年1~2月の値は推計値、%は対前年同月比

旅行動態の変化の状況

団体旅行(パッケージツアー)から
個人旅行(FIT)への移行

個人旅行手配の割合

2012年: **60.8%** 2017年: **75.7%** ⇒ **14.9ポイント増**
(7~9月)

(参考) 中国 28.5% 60.0% ⇒ 31.5ポイント増
香港 70.8% 90.6% ⇒ 19.8ポイント増

スマートフォンを最大限活用した
旅行スタイルへの変化

日本滞在中に役に立った旅行情報源として スマートフォンと回答した割合(複数回答)

2012年: **23.5%** 2017年: **72.1%** ⇒ **48.6ポイント増**
(7~9月)

都市部から地方部への観光の広がり

地方部における外国人延べ宿泊者数

2012年: **855万人泊** 2016年: **2,753万人泊** 2020年: **7,000万人泊**
(目標)

(参考) 都市部 1,776万人泊 4,186万人泊
2.4倍

リピーター数の増加

リピーター数

2012年: **528万人** 2016年: **1,426万人** 2020年: **2,400万人**
(目標)

地方を訪問する個人客の増加に対応し、地方への誘客をさらに推し進めるため、旅客サービスの充実、スマートフォンによる情報発信等の施策の充実が必要

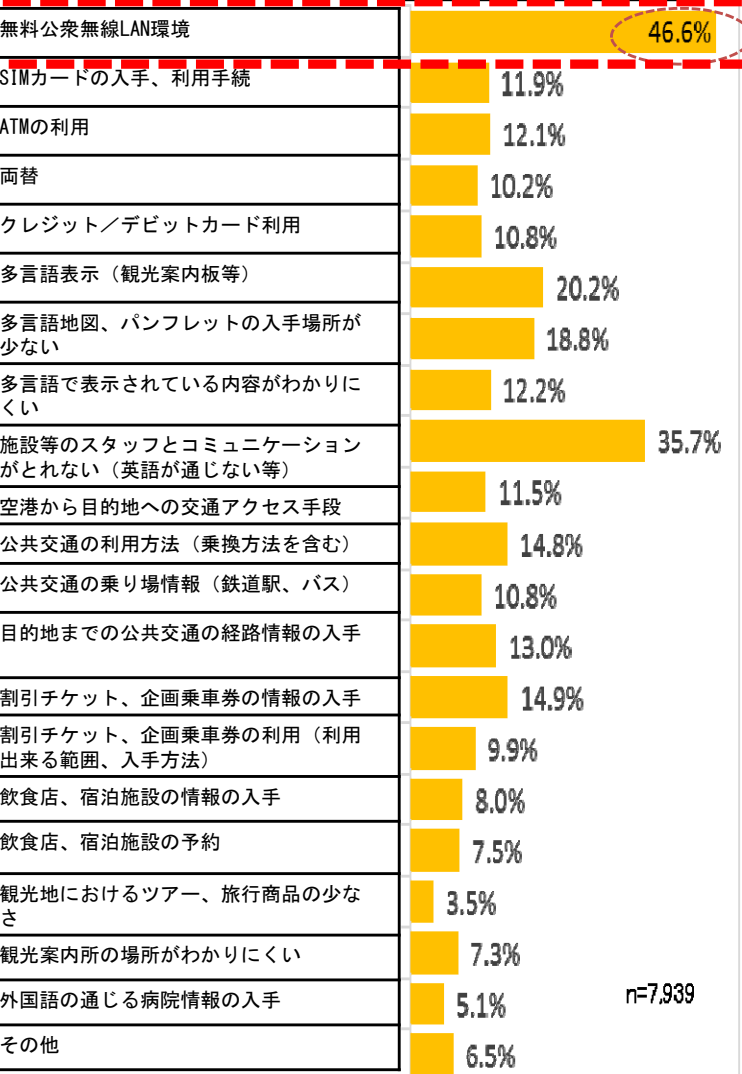
「訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関するアンケート」調査結果

旅行中に困ったこと

● 旅行中困ったこととしては、平成26年度調査においては「無料公衆無線LAN環境」が46.6%で最も多く、平成28年度・29年度調査においては、「施設等のスタッフとのコミュニケーションがとれない」が最も多くなった。

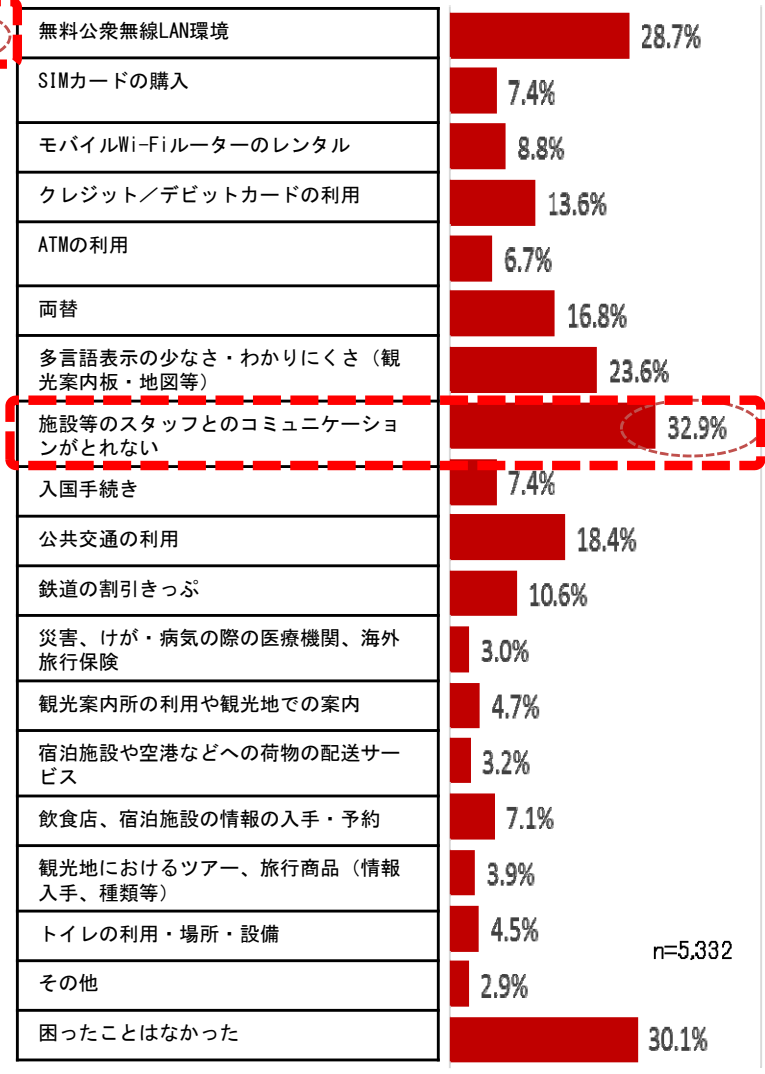
【平成26年度調査】

旅行中困ったこと(複数回答)



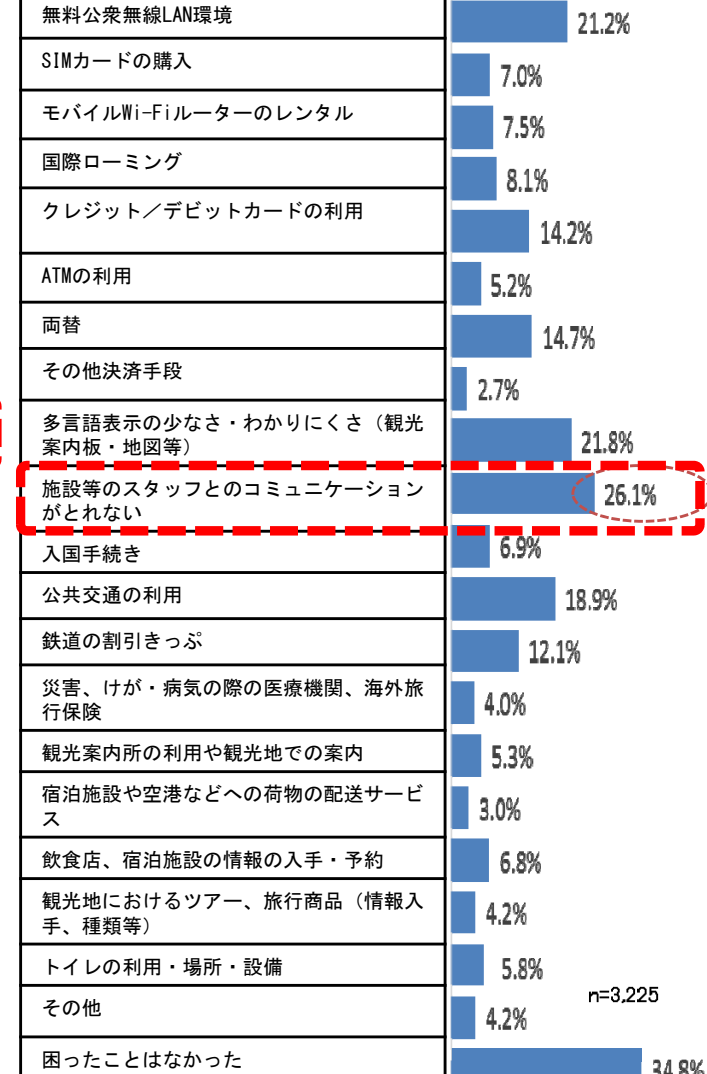
【平成28年度調査】

旅行中困ったこと(複数回答)



【平成29年度調査】

旅行中困ったこと(複数回答)

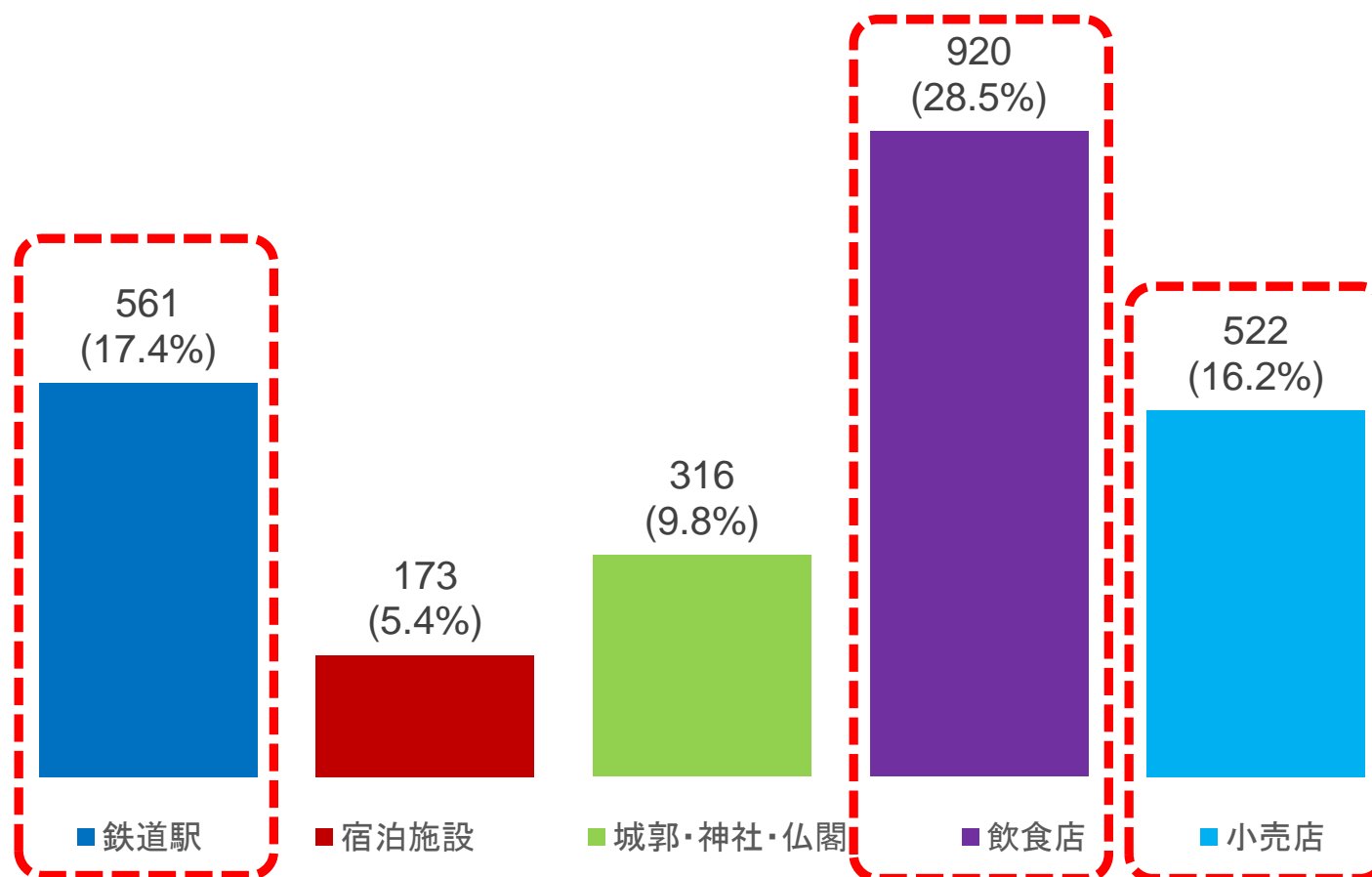


平成29年度調査結果 2-1.多言語表示・コミュニケーションで困った場所

- 前回調査(平成28年度調査)で特に困った旅行者が多かった5種類の施設を取り上げ、訪日旅行中に利用・訪問した施設のうち、多言語表示やコミュニケーションで困った場所を尋ねたところ、**飲食店で困った**という回答が28.5%で最も多く、**鉄道駅(17.4%)、小売店(16.2%)の順に多い。**

訪問した場所の中で多言語表示・コミュニケーションで困った場所(複数回答)

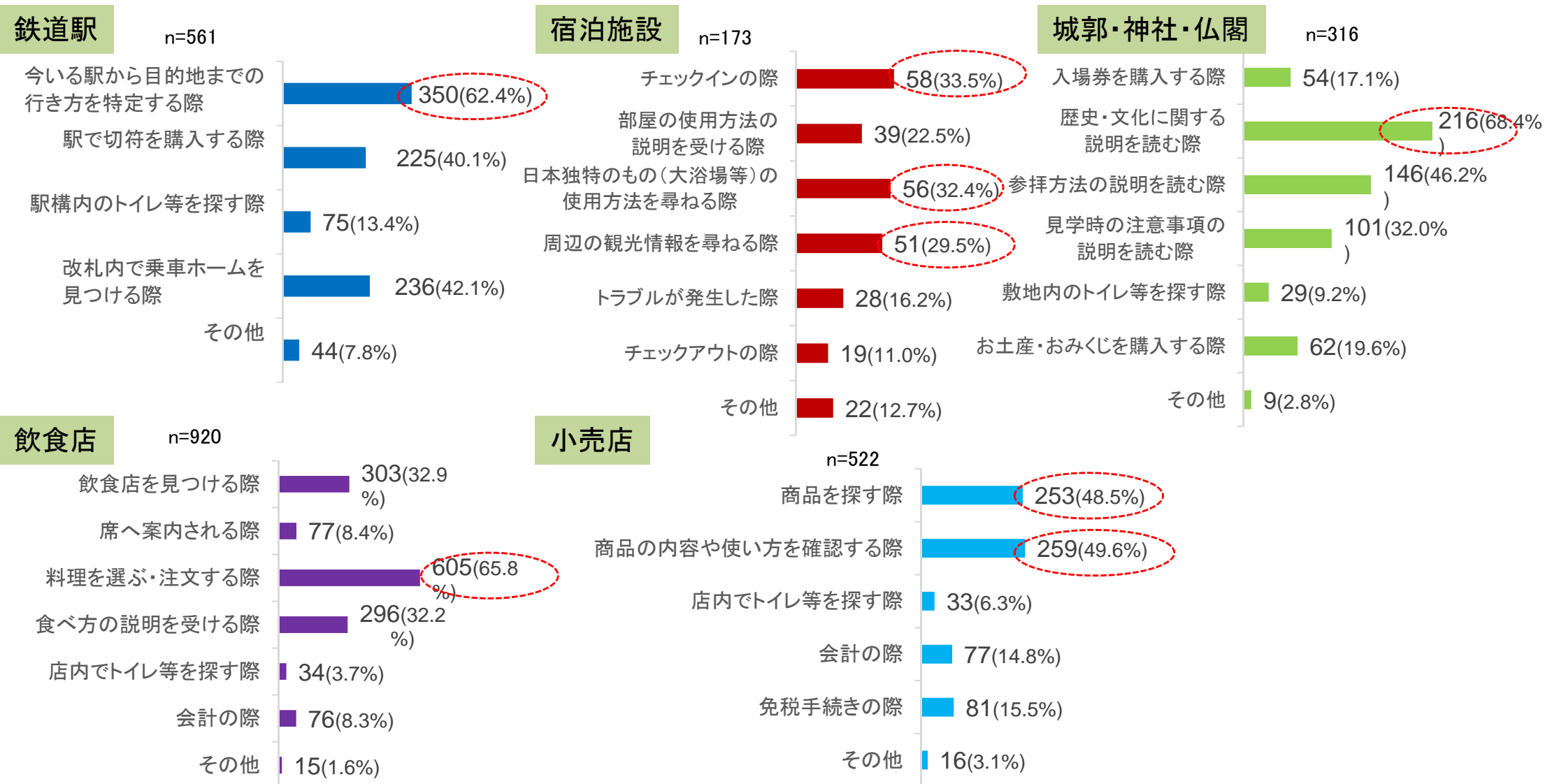
n=3,225



平成29年度調査結果 2-2.多言語表示・コミュニケーションで困った場面

● 各施設で特に困った場面について、飲食店では「料理を選ぶ・注文する際」(65.8%)、鉄道駅では「今居る駅から目的地までの行き方を特定する際」(62.4%)、城郭・神社・仏閣では「歴史・文化に関する説明を読む際」(68.4%)の回答が多い。

多言語表示・コミュニケーションに関して困った場面(複数回答)

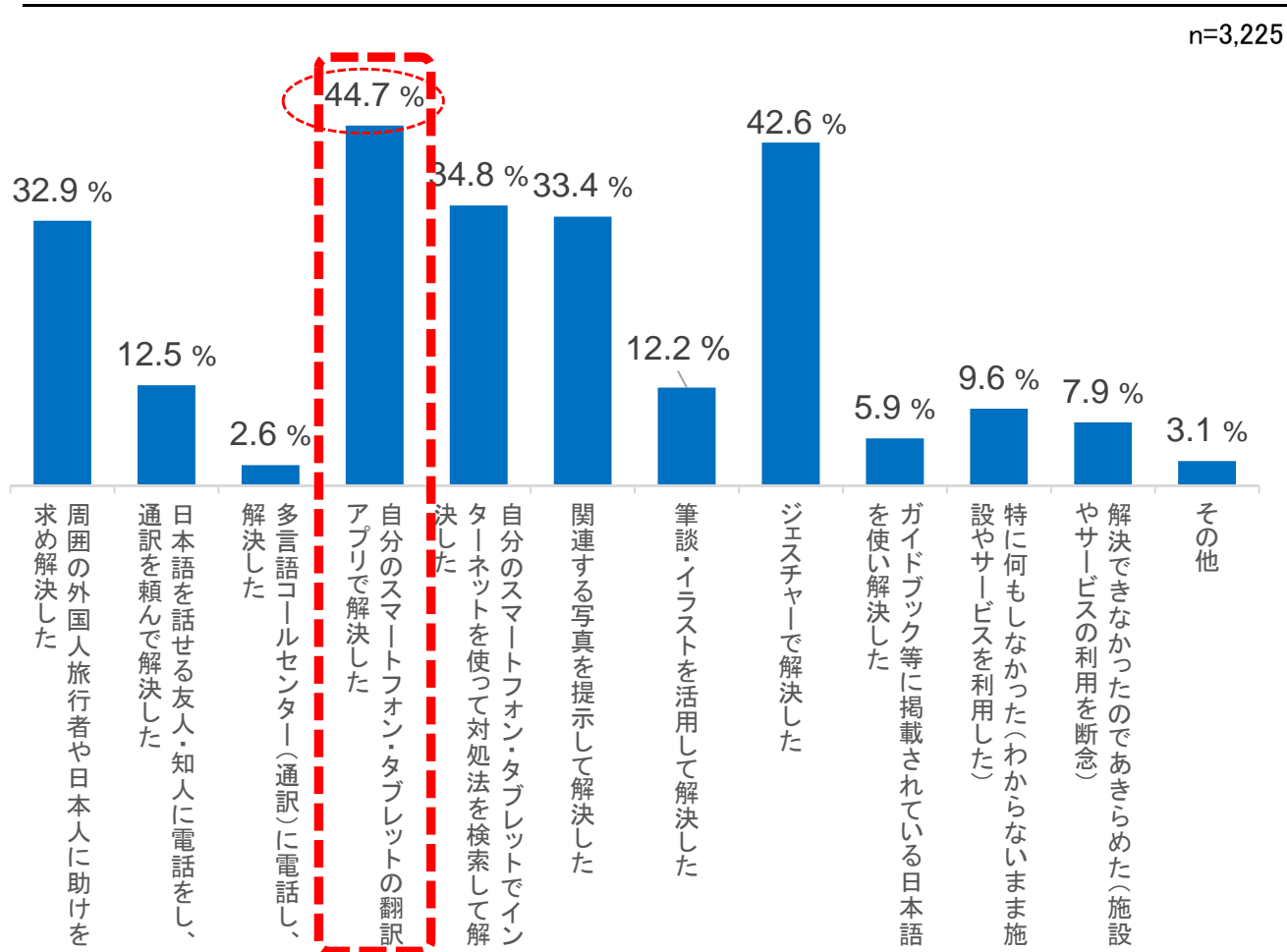
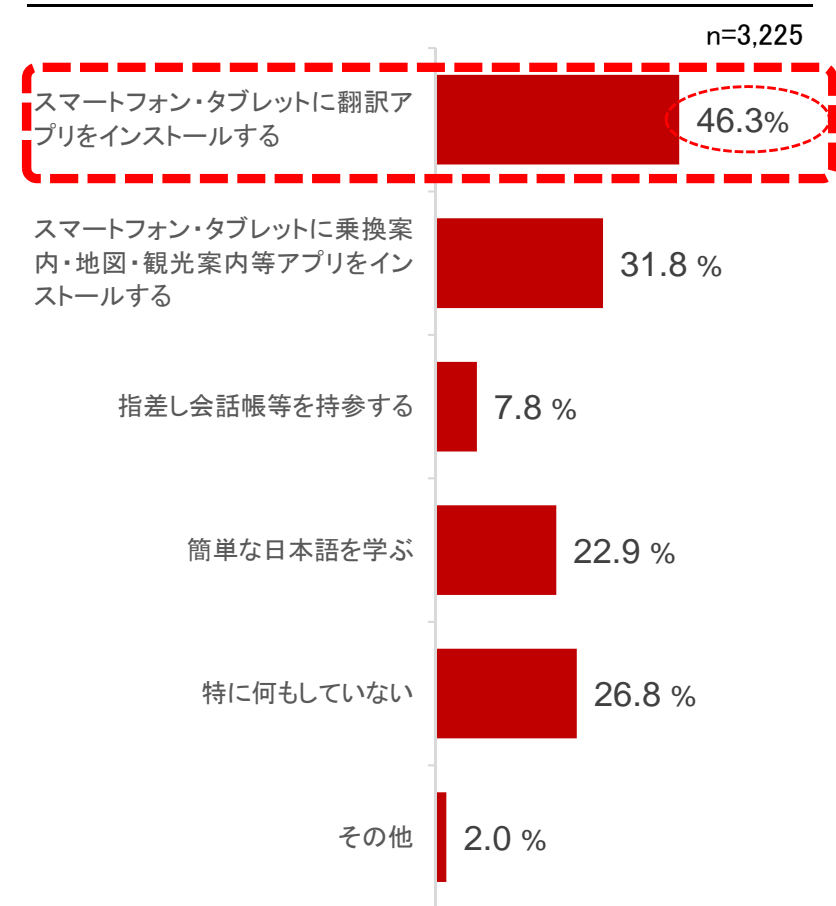


平成29年度結果 5.訪日旅行前の準備と訪日旅行中の実際の対応

- 訪日旅行前の準備のため、自身のスマートフォンやタブレットに翻訳アプリをインストールした人は約半数(46.3%)にのぼる。
- 訪日旅行中に困った際、自分のスマートフォン・タブレットにインストールした翻訳アプリを使って解決した人も約半数(44.7%)にのぼる。

訪日旅行前に準備したこと(複数回答)

多言語表示・コミュニケーションで困った際、解決に使った方法(複数回答)



目的

総務省において取り組んでいる「多言語音声翻訳技術の利活用実証」に、**国交省の所管する観光関係事業者、交通事業者を最大限巻き込み、多言語音声翻訳システムの地域全体の普及**を目指すとともに総務省の研究開発を後押し。

平成29年度実証事業の対象地域における関係者の拡充

- 対象地域（金沢市・大阪市・富良野市・大多喜町）内の**観光関係事業者（交通事業者・宿泊施設・観光案内所・観光施設・免税店等）**に幅広く「VoiceTra.R」の導入を働きかけ、**地域一体となった実証事業**を実施。
- 東北地方の広域観光拠点等**において「VoiceTra」の利活用実証事業を**立ち上げ**、更なる周知・改善を実施。



交通事業者（鉄道）



交通事業者（バス）



宿泊施設



観光案内所



観光施設



免税店

観光ビジョン推進地方ブロック戦略会議における「VoiceTra等」普及に向けた体制整備

- 地域の課題を各省庁横断的に取り上げる「観光ビジョン推進地方ブロック戦略会議」において、地方運輸局・地方整備局・地方総合通信局で連携し、**地域毎で多言語音声翻訳システム（アプリVoiceTra等）普及に向けた体制を整備**。
- 他の地域でも導入が進むよう、**業界団体を巻き込んだ徹底した周知**、ブロック戦略会議を活用して**普及促進**を図る。



訪日外国人旅行者への周知広報

訪日外国人旅行者に対し、**JNTOサイトや観光案内所、空港等でアプリ「VoiceTra」を周知**することで、円滑な旅行をサポートする。